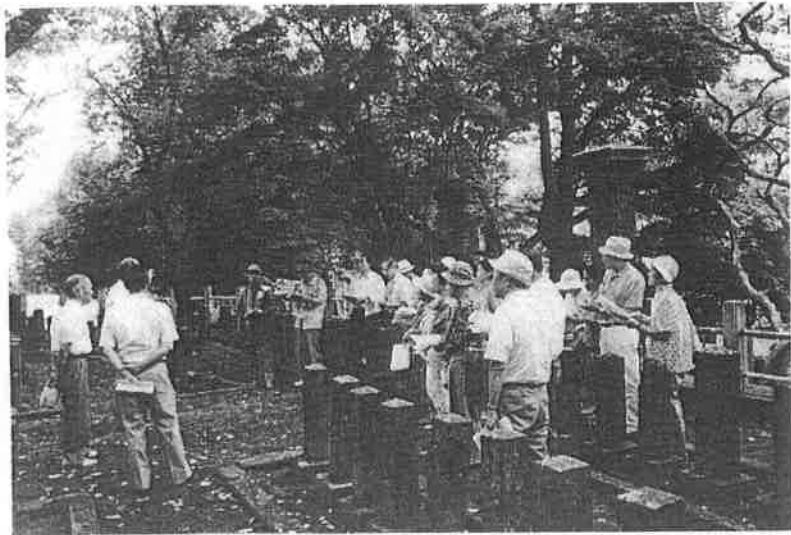


八代史談会（地域文化活動部門）



概要

設立 昭和三十一年二月一日
会長 名和達夫
会員数 三九八名
所在地 八代市田中東町十二番四号
電話番号 ○九六五（三三）四三六九
主たる活動地 八代郡市

八代地方の歴史、民俗、史跡等の調査研究に努め、その成果発表等の場としての機関誌の定期的発行、八代市史編纂への協力など、郷土の歴史や文化に関する調査研究の充実に大きく貢献した。また会員以外も参加する研修会や史跡巡り等の開催あるいは史跡等の案内標木の建立や史跡案内ボランティア活動にも力を入れ、地域の歴史や文化伝統への関心を高めるとともに郷土に対する理解の向上に大きく貢献してきた。

地域の歴史研究や伝統文化の保存・継承に対する気運が高まっている今日、当会の地域の文化の振興に果たす役割は、ますます大きくなるものと期待されている。

これまでの活動歴

- ・昭和三十一年二月設立時には、肥後考古学会八代支部と呼称
- ・機関誌「夜豆志呂」の発行（昭和四十一年創刊、年四回発行、近く百号発行）
- ・「ふるさと思い出写真集明治・大正・昭和」発行（昭和五十六年）
- ・「写真が語る八代の今昔」展（史談会三十周年記念事業として昭和六十年開催）
- ・「写真が語る八代のおゆみ」展（昭和六十一年開催）
- ・史跡案内標木の建立（昭和五十二年九月から始め、昨年末で二十二本建立、平成三年度に五本予定）
- ・全国地名シンポジウム八代大会の開催（平成二年八月二十五、二十六日開催、特に二十六日は史談会が中心となって開催し、三分科会のパネラー等として、八名が出席した。）
- ・史跡案内ボランティア活動（平成元年度市教委が十回の研修後に採用した二十二名のボランティアの殆どが会員で、二年度以降も続いている。）